

●市内環境保全団体等の活動状況

〈市民・事業者〉

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。これらの団体から平成21年度の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。(五十音順)

団体名	鎌倉を美しくする会	会員数	32名	代表者	高田晶子さん	
活動目的	散乱ごみゼロとベンチで憩う美しいまちづくり					
【活動の内容】						
落書き・貼り紙防止：消去及び除去活動						
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 通年町中の落書き・貼り紙をチェックし担当課に報告及び情報提供</li> <li>※ 常習犯に悩まされつつも、大型の落書きは影を潜めています。しかし通年パトロールは欠かせません。平成21年度から鎌倉市と「落書きのないまちづくり」相互提案協働事業に参加し、当会の市内巡回活動も多大な貢献をしています。</li> <li>※ 平成15年度違反屋外広告物除却協力員制度が発足してから、初めて担当課との懇談会が実施され、当時8600枚/年だった違反広告が、H20年510枚/年となり、改めてこの活動の成果を再確認しました。</li> </ul>						
展示・研修等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市民活動の日フェスティバル・パネル展示「大船駅笠間口の周辺の美化について」</li> <li>➢ 「屋外広告の日鎌倉駅東口界隈キャンペーン」都市景観課主催。当会協力員3人参加</li> <li>➢ 第11回アダプト・シンポジウム参加</li> </ul>						
散乱ごみ防止・清掃活動						
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 5月連休（5/3、4、5）若宮大路とその周辺</li> <li>➢ 正月三が日若宮大路とその周辺啓発清掃</li> <li>➢ 通年 バス停ベンチ設置周辺の見回り、清掃と管理</li> <li>➢ 通年 古館橋バス停花壇の手入れ など</li> </ul>						
新規 ホームページ開設						
➢ URL: <a href="http://kamabi.sakura.ne.jp/">http://kamabi.sakura.ne.jp/</a>						
新規 ベンチ維持活動						
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2004年北鎌倉バス停にベンチ設置活動をスタートしてから公共用地占用許可の5年を順次迎えるに当たり、更に3年維持管理する活動をスタートさせました。2004年度設置した28台のベンチを対象に支援金を募り、ステッカーの更新、表面磨き清掃などの活動で、5年経過したとは思えないほどきれいになりました。</li> </ul>						
「大船駅笠間口周辺の美化問題について」2年経過後の報告						
○2008/1/9大船駅笠間口周辺の美化問題懇談会以降、問題解決に向けて根気よく取り組んだ結果、2010年誰もが驚くほどきれいになり、多大な成果をあげることが出来ました。						
特記事項						
○「ベンチ設置に定額給付金を使ってほしい」篤志家の申し出を受け、地域の町内会、利用者の希望を取り入れ材木座バス停にベンチを設置することができました。						
○ご主人のメモリアルベンチを海の見えるところに。ご希望に沿って現地の町内会とも話し合い、七里ガ浜プロムナードに設置しました。						
■2009年度バス停ベンチ設置箇所（2009年4月～2010年3月）						
設置日	場所(停留所名)	台数	種類	撤去数	道路	管轄
8/07	材木座(鎌倉駅面)	1台	新設	1台	市道	鎌倉市
8/20	七里ガ浜プロムナード	1台	新設	1台	市道	鎌倉市
2003年度～2009年度 65箇所バス停に75台設置。撤去した違反ベンチ台数172台						

団体名	鎌倉を楽しくする会	会員数	66名	代表者	伊藤泰三郎さん	
活動目的	「鎌倉の歴史を背にしてボランティア」とのキャッチフレーズに鎌倉の歴史的な場所で文化探求をしながら、まちの散乱ゴミを拾い、街の美化活動を13年継続的に行っている。					
【活動内容】 鎌倉の歴史は、旧鎌倉郡が中心。しかし都市景観は京都・奈良に大きく遅れをとっている。街の散乱ゴミを拾っても、追いつけない。街の構造改革しないと世界遺産はおぼつかない！無用な構造物を撤去しよう！ガードレール・鉄柱・石柱・電柱・鉄蓋・記念ポール・金網等。						
活動日	活動場所	活 動 内 容	参加者数	ゴミ拾い実績 (kg)		
				燃えるゴミ	ビン・缶	その他
平成21年 4月2日 (木)	県立金沢文庫 (横浜市金沢区)	国宝文選集注拝観と道津学芸員の説明拝聴 称名寺拝観と海の公園まで散乱ゴミ拾い。	36名	40	20	
5月19日 (火)	雪ノ下会館	源頼朝会 小池時一氏の講和 テーマ『源頼朝と鎌倉幕府』、若宮大路周辺清掃	18名	50	5	
6月16日 (火)	光明寺	長谷川執事長の法話 (歴代住職の御廟所・参道・本道裏の清掃)	22名	350	—	
7月29日 (水)	村岡城址 玉縄城跡 二伝寺 長尾城社 権五郎神社	村岡公園にある村岡城址・清泉女学院玉縄城跡二伝寺では住職から法話を頂き境内散策。長尾台・長尾城址・権五郎神社をバスで廻る。	26名	—	—	
9月30日 (水)	青蓮寺	服部住職の法話と般若心経の写経体験	20名	—	—	雨天
11月18日 (水)	鎌倉国宝館	国宝当麻曼荼羅絵巻、重文阿弥陀三尊像等拝観。三の鳥居から滑川までゴミ拾い。	11名	10	8	
12月15日 (火)	円応寺	今井住職の法話。閻魔大王ほか広範な内容。鎌倉街道ほかの散乱ゴミ拾い。年越蕎麦。	18名	100	—	
平成22年 1月18日 (月)	竜口寺	本間日恩貫主の法話「無財の七施」と小動神社から、海岸線のゴミ拾い。	20名	80	20	
2月12日 (金)	龍宝寺	梅田良光住職の法話、本堂・境内散策。大船駅から3ルートに分かれてゴミ拾い。	16名	80	30	1
3月31日 (水)	柏尾川「桜フォーラム」	戸塚駅から大船駅まで満開の「桜フォーラム」併せて、沿道の散乱ゴミ拾い。	34名	200	80	30
ゴミ回収実績			—	910	163	31
年間活動日数 10日			延べ活動人員 221人 ※他にまち美化クリーンデー参加がある。			

<ひとこと> (各月のボランティア企画は企画委員の自主的提案をベースに実施している)

- ①<sub>r</sub> 東鑑・源平盛衰記など鎌倉の歴史的資料は豊富である。しかし、横浜市西部・葉山・逗子・藤沢など旧鎌倉郡を含めた景観づくり活動が肝要。
- ②<sub>r</sub> 世界遺産登録には、社寺以外の民間建物、公的インフラ、まち全体の景観改造が必需。

団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	142名	代表者	岩田晴夫さん
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				

**【活動の内容】**

私達は、(財)日本野鳥の会・神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として活動を実施しています。

- ① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月2回実施。  
自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上)を図ること等が目的です。コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年5月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年5月～)等の作業を実施。
- ② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)。
- ③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。
- ④ 平成6年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導。
- ⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受ける(1997～)。  
佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。
- ⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施。
- ⑦ 教養センターの「バードウォッチング」講座の講師を務める。
- ⑧ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施し(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言。
- ⑨ (財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1月)。
- ⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施。
- ⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣。
- ⑫ 鎌倉メダカの保護増殖。市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力。
- ⑬ 鎌倉市のアライグマとタイワンリスの防除実施計画に協力。

**【活動の成果】**

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持している。主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続。近郊緑地保全地区や開園後の夫婦池公園等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の管理・整備に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。

団体名	かまくら環境会議	会員数	38名	代表者	大道不二子さん
活動目的	自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、生物・水質調査を原則として奇数月の土曜日に、水部会を中心に年5回実施しました。その他、扇川のホタルの鑑賞会を1回開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を1回行いました。</li> <li>○ 2月に学習会「玉縄の自然の変遷」について椎野忠雄さんを講師に玉縄の自然について学習しました。</li> <li>○ 海洋生態観察として、6月と11月に「海岸調査」を実施し、鎌倉の海の現状を知りました。</li> <li>○ 大気中の窒素酸化物測定を6月と12月に年2回実施しました。</li> <li>○ NPOセンターフェスティバルに展示参加し会のアピールをしました。</li> <li>○ まち美化運動連絡会に参加し、美化活動に協力しました。</li> <li>○ 4月と9月に神戸川環境調査を実施しました。</li> <li>○ かまくら環境保全推進会議に団体委員として参加し、市の環境政策推進に協力しました。</li> <li>○ 広町の水質調査及び生きもの調査を1回行いました。</li> <li>○ 「扇川だより」を発行しました。</li> <li>○ 会報「エコ・コミュニティ」を4回発行しました。</li> <li>○ 石原谷戸と関谷川の環境調査を2回実施しホタル観察会を行いました。</li> <li>○ 西鎌倉小学校4年生神戸川観察に講師として参加しました。</li> <li>○ 3月に見学会「玉縄の谷戸と関谷を歩く」平田貞夫さんを講師に玉縄地区について学びました。</li> </ul> <p><b>【活動の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができた。</li> <li>○ 環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えた。</li> <li>○ 行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができた。</li> <li>○ 環境保全やまち美化に貢献できた。</li> <li>○ 「よへい屋敷谷戸の会」にアドバイザーとして参加しました。</li> </ul>					

団体名	山崎・谷戸の会	会員数	920名	代表者	吉野俊雄さん
活動目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動				
<p>【活動の内容】</p> <p>「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させた。2008年4月より特定非営利活動法人団体となる。</p> <p>当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、この班活動を中心に鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農林作業や保全作業を行いながら、谷戸の景観と自然生態系を守り育て、里山の復活再生を目的とする。</p> <p>&lt;年間の活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>谷戸の保全に必要な季節に応じた7つの班活動(年256回)</li> <li>そのうち、公園協会との協働事業(年70回)</li> <li>事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)会員、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等</li> <li>谷戸まつりを開催し(年2回)、公園で収穫した農産物や加工品を参加者に頒布</li> <li>会報の発行(年6回)</li> <li>谷戸塾開催(全33回 田んぼ班、畑班の作業、谷戸講座)</li> <li>新作紙芝居の作成「かっちゃんの昔シリーズ」2編(お手伝い編・遊び編)</li> <li>環境省主催モニタリングサイト1000里地調査</li> </ul> <p>&lt;行政、公園海浜課、公園協会との協働など&gt;</p> <p>公園利用者懇談会(2回)、鎌倉中央公園管理運営協議会(2回)、3者協議に出席(4回)</p> <p>&lt;主要事業及び公園協会との協働事業&gt;</p> <p>理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、お泊り里山体験、活動連絡会(1回/月)、「ホテルの紙芝居」とパトロール(6/6～7/11まで、全13回)、春の七草・どんどこやき</p> <p>&lt;体験学習の受け入れなど&gt;</p> <p>鎌倉市環境政策課へ環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めた。毎回、事前に学校、担当者で打合せをし、活動後は担当者で反省会を行う。また、子ども達が学校でまとめた活動ごとのふりかえりをもとに次の活動につなげ、さらに学習、活動が充実するように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深沢小学校小5年「谷戸田の米作り」9回、3年「自然となかよし」2回</li> <li>御成中1年「谷戸の保全作業」2回</li> <li>教育支援教室ひだまり「谷戸田の米づくり」9回</li> <li>湘南学園中2年「昔ながらの谷戸」1回</li> <li>西鎌倉小3年「鎌倉たんけん」1回</li> <li>玉縄中3年「下草刈り」1回</li> <li>深沢中3年「下草刈り」1回</li> <li>手広中3年「下草刈り」1</li> <li>その他、深小教員補助作業、鎌倉市保育士講座</li> </ul> <p>&lt;他団体の受け入れなど&gt;</p> <p>てらこや「目指せ！里ヤマスター」9回、市民健康課主催「食育講座」の畑体験、かまくら子育て支援グループ懇談会の「サトイモとどろんこ」、舞岡公園「やとひと未来」の視察研修、環境省主催モニタリングサイト1000里地調査研修会に対応</p> <p>&lt;他団体への訪問・交流・会議出席など&gt;</p> <p>山崎夏祭り協力、日本自然保護協会主催自然観察指導員講習会説明会・講習会に参加、よこはまかわの会主催「新治の里山公園づくり」参加、山崎の北野神社にて賀詞交換会参加、鎌倉NPOセンター主催協働研修「新しい公共」出席、森づくりフォーラム出席、かまくら子育て支援グループ懇談会月例会出席、深小ふれあい広場会合に出席</p>					

<講演会・事例発表など>

1、「実践ガイド 田園自然再生」(社)農山漁村文化協会発行にて「市民の力で伝える谷戸田の守り方、耕し方」執筆

2、「環境ミュージカル」にて事例発表

<取材および掲載など>

鎌倉朝日にて毎月コラム欄担当 10回

鎌倉FMにて毎月第2第4水曜日「おはよう かまくら」ライブ出演

みどり愛護受賞記事掲載・・タウンニュース、東京新聞、かまくら春秋

KCTV(年間数回)

タウンニュース(年間数回)

<協力>

NPOフェスティバルに参加・展示・デモンストレーション

<農産物の寄付提供および道具の貸し出しなど>

深沢小学校、かまくら子育て支援グループ懇談会、深沢地区社会福祉協議会、鎌倉風致保存会、障害児支援施設「のんびりスペース大船」、丸山子ども会、青空自主保育4団体、広町田んぼの会、鎌倉市青少年指導員連絡協議会、ハリス記念鎌倉幼稚園、教育支援教室「ひだまり」、てらこや、山崎町内会、西鎌倉小学校

<受賞>

「みどり愛護」功労賞国土交通大臣表彰を受賞

<活動の成果>

- ・ 「みどり愛護」功労賞国土交通大臣表彰を受賞できた。
- ・ 里山保全活動により、多様な生物の生息が確保されている。
- ・ 谷戸塾を開催し、班活動への会員参加が増え、事務局員も2名増員となった。
- ・ 会員数が安定し、活動が継続できた。正・準会員数 327名 総会員数 920
- ・ 事務局員の運営の充実化に努め、多くの業務を対処した。
- ・ 一般市民が参加できる事業実施で、会の周知を図れた。
- ・ 小・中学校の総合的な学習が定着し、継続できた。

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	4,200世帯 (7自治 ・町内会)	代表者	奥田 せい子さん
活動目的	<p>① 連合会（7自治体・町内会）は25年にわたり、広町緑地の開発反対運動を展開し、その開発を阻止し保全を獲得した成果をふまえ、同緑地の都市林公園の構築に寄与し、これを次世代に継承していく。</p> <p>② 広町緑地の保全・維持・管理活動に参加・支援し、周辺自治・町内会の意見を喚起・集約し、都市林公園構築に反映させていく。</p>				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <p>1) 都市林公園構築に参画——広町緑地の都市林構築に関して全市的な立場に立ったシステム化を図るため、主な市民団体と五つのボランティア活動の会の話し合いの場として「新懇談会」が再発足した。これを通して「市民主体の自立した運営組織」を立ち上げ、都市林公園構築に貢献していく。</p> <p>2) 連合会加盟自治・町内会の意見吸収——当会の住民は同緑地の4つの入り口に接し、広町緑地を利用する機会が多い。広町緑地に対する意見の吸収に努めて、その声を市に反映させている。今年度は七里ガ浜入口、鎌倉山入口の整備が実現した。</p> <p>3) イベントを通して加盟自治・町内会の交流をはかる——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜と春の草花を愛でる会」を開催。広町の花々に親しむ。45名の参加で盛会。</li> <li>・「ドングリで遊ぼう」を企画。子供達が広町の自然と遊ぶ機会を作り、当会子供会に呼びかけ親子74名の参加で盛況だった。</li> <li>・「広町案内人チーム」をつくり、広町案内の企画をする。月1回勉強会を開き、どこでも案内できる人材を育成し、いつでも広町を案内できる体制づくりをしている。</li> </ul> <p>4) 広報活動——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連合会ニュース」、ホームページで当会の活動を広報し、また、各自治・町内会の掲示板をフルに活用して、広町緑地の情報を提供している。</li> <li>・広町の現状を当会住民にお知らせするために「広町は今」の映像を各加盟自治・町内会を巡回して上映し、説明会を行っている。</li> <li>・「広町ガイドブック」の作成準備。会員や子供達への広町緑地の周知に努め、都市林公園構築に資する。来年度無料配布予定。</li> </ul> <p>5) 運動史発行に伴う講演——広町緑地開発反対運動の攻防の25年間の歴史を後世に伝えるため「鎌倉広町緑地はかくて守られた」を昨年発刊・販売した。これにつき各団体や学校で講演し、今後の保全運動の参考に資する活動をしている。</p> <p>6) 渉外活動——他団体との交流のため、NPOセンター利用登録団体との懇談会・交流会に参加。各自治・町内会との交流、市との交流を図っている。</p> <p>7) 定例役員会月1回開催。その他各委員会も随時開催。</p> <p>8) 広町緑地の現場における保全・維持・管理活動への参画——市民団体や市の公募市民が広町維持管理活動をしている5つの会（田んぼの会、畑の会、森の会、自然観察の会、散策路の会）に当会は参加・協力・支援している。</p> <p><b>【活動の成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当会の長年の広町緑地の保全運動の経験を語り、他の緑保全運動に寄与した。</li> <li>2. イベントを通して加盟自治会の交流をはかった。</li> <li>3. 個人としても自治会としても維持管理活動に参加。</li> </ol>					

団体名	鎌倉の海を守る会	会員数	役員20名 (会員システムをとっていないため)	代表者	河合涼太さん
活動目的	鎌倉の海浜とその周辺の自然環境及び景観を保全しできるだけ人工の手を加えず後世に伝えることを目的とする。				
<p><b>【活動の内容】</b>  会報発行年3回（4月、7月、11月）。ホームページにも掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/6 ビーチクリーンアップ：雨天のため中止</li> <li>・ 5/10 第11回磯の自然観察会：参加者23名。姥ヶ谷の磯で、講師の指導のもと生物を観察、海藻で押し葉を製作。終了後は採取した生物を生きたまま海へ返した。</li> <li>・ 5/31 浜の植物観察会：国道拡幅で工事予定の鎌倉高校前では、市内唯一のハマエンドウの植物群落の他、ハマボス、イワダレソウ、ハマダイコン、テリハノイバラなどがみられた。峰ガ原信号所前の浜では、市内最大のハマヒルガオ群落が砂浜の侵食を防ぐための工事により崩され辺縁部にわずかに残っていた。100mほど東には新たなハマヒルガオ群落ができ始めていた。</li> <li>・ 7/18～8月末 ビーチパトロール： 海水浴期間中、ビーチクリーンを行いながら吸殻入れを配付、海浜利用者にタバコのポイ捨て防止とゴミ持ち帰りを呼び掛けた。延べ出動日数12日、延べ出動人員66名。</li> <li>・ 7/30～8/5 活動発表展示： 鎌倉駅地下道にて会の活動を発表した。ビーチクリーンアップの集計で多かったゴミのワースト10など、活動の様子を写真やパネルで展示。</li> <li>・ 9/23 ビーチクリーンアップ： 秋のビーチクリーンアップでは、世界ゴミ調査キャンペーンの一環で、回収ゴミの集計もあわせて行った。参加総数740名。もっとも数の多いゴミは、タバコの吸殻・フィルターで3103個。</li> </ul> <p><b>【活動の成果】</b>  ビーチクリーンアップ：  会の活動で最も長いものの一つ。1997年以来、市内海岸全域で年2回行っている。「クリーンアップ鎌倉」海の部の実施団体となっている。</p> <p>浜の植物を楽しむ会：  市内海岸でほとんど失われた浜の植物群落を、七里ガ浜海岸で観察する。海と陸の接点に生育し潮風や飛砂を防ぐ役割を担っている海岸性植物の重要性を知り、分布状況をモニタリングして、より多くの方に関心をもってもらうことを目的としている。</p> <p>磯の自然観察会：  海に親しむ機会の少ない方々を対象に磯の観察方法などをわかりやすく解説する。鎌倉在住で小さいお子さんを持つ家族の参加が多く、鎌倉の海の豊かさや身近な自然の大切さ、保護の重要性を理解するきっかけになっている。毎年5～6月の大潮の週末に行う。</p> <p>ビーチパトロール：  1998年から続く活動で、毎年参加する社会人や学生もいる。土・日及び祭日を強化日として活動している。主なパトロール地区は、材木座、由比ガ浜、坂ノ下海岸で、海水浴期間の海浜の美化に努めている。</p>					

団体名	NPO法人 鎌倉広町台峯の自然を守る会	会員数	—	代表者	横川節子さん
活動目的	台峯緑地の自然園としての整備、広町緑地の里山復元				
【活動の内容】					
<p>1) 広町・台峯の自然の美しさを体験していただく活動 3月末に桜の花の観賞ハイキング、5月初旬、広町の大桐の花、山藤の花をたずねるハイキング、6月中旬、ゲンジボタル観察会、7月はじめ、広町・台峯の湿地に群生する半夏生をみるハイキング、秋の植物探察ハイキング等、足で、そして体で自然の美しさを実感していただく催しを実施しました。</p> <p>2) 次の世代を背負う子供たちに、花をみつけ、桑の実をたべ、田んぼでどじょう、ザリガニ、おたまじゃくし、やご（トンボの幼虫）にふれてもらう催しを行いました。そして、土やドロに足、手を突っこんで、発見をし、生きる力を養うことに貢献しました。</p> <p>3) 子供たちにはこうした体験を作文に書いてもらって、作文コンクールを市教育長のご支援をいただき実施しました。</p> <p>4) これとあわせ、鉛筆、クレヨン、パステル、絵の具を使って、木や虫や風景を描く図画コンクールを実施しました。</p>					
【活動の成果】					
親子が同じ作業をすることで、家族の話し合いが豊かになり、心の通い合いができて、たのしい家族づくりに貢献できました。					

団体名	NPO法人 鎌倉広町の森市民協議会	会員数	973人	代表者	家原義靖さん
活動目的	① 広町緑地の都市林公園の開設（平成26年度末の予定）に向け、市民の意見を喚起、集約して、来年度の実施設計に反映する。 ② 広町緑地の保全・維持管理・利用に積極的に参画・参加および支援し、市民主体の自立した運営組織の確立を目指す。				
<b>【活動の内容】</b> 1. 活動方針（基本姿勢） ① 現場活動の更なる強化（三現主義） ② 現場活動要員の育成・強化 ③ 会員とのコミュニケーションの充実と組織・財政基盤の強化 2. 活動内容 (1) 市、広町緑地関連市民団体との連携により、「5つの会」を設立し、活動を推進 ① 樹林地の手入れ、植林、など―「広町森の会」（2回/月） ② 田んぼの復元―「広町田んぼの会」（4回/月） ③ 畑の復元―「広町畑の会」（4回/月） ④ 樹林地および谷戸の動・植物の観察と生育環境の整備―「広町自然観察の会」（班毎の活動、1回/月合同作業） ⑤ 緑地内の散策路の整備―「広町散策路の会」（2回/月） ⑥ 各会による共同活動：収穫祭の開催、浄化池の維持管理、谷戸の乾燥化防止、など (2) 市民協議会独自の活動 ① 緑地保全・維持管理のための「広町パトロール」（2回/週） ② 活動リーダー・要員育成のための「広町から学ぶ会」（2回/月） ③ 「かまくら緑の探偵団」の運営と次世代の育成（定例会：1回/月） ④ 御所谷入口の「トイレの清掃・管理」（土・日曜、祭日）と維持管理活動の用具購入・管理 ⑤ 各種イベントの開催（数回/年）と広町緑地のガイド（随時） ⑥ 「協議会ニュース（隔月）」、「広報誌：広町の風（季刊）」の発行、HP（ <a href="http://www.hiromachinomori.org.jp">http://www.hiromachinomori.org.jp</a> ）などによる広報活動 ⑦ 「広町の森への道順と散策マップ」を西鎌倉駅と御所谷入口に設置 ⑧ 小・中・高校の生徒を対象とする「環境教育（総合学習など）」への協力（随時） ⑨ 広町緑地の未購入土地（含む、室ヶ谷エリア）の購入または借地のための「トラスト活動」 ⑩ 「緑の羽根・緑の募金」活動 ⑪ 理事会の開催（1回/月） (3) 都市林公園の実施設計に向けて、市担当部門と緑地保全、管理体制などを話し合うため、市と関連市民団体による広町緑地の管理運営に関する懇談会を開催 <b>【活動の成果】</b> 1. 保全・維持管理活動の活発化 5つの会の活動の定着。新たに御所谷の乾燥化対策に着手 2. 一般市民の参加の増加 ① 麦踏み、田植え祭、収穫祭など ② かまくら緑の探偵団の会員数100人を達成					

団体名	鎌倉ホタル保存会	会員数	10名	代表者	前山洋子さん
活動目的	環境美化を目的に環境指標生物のホタルの育成と保存の啓蒙				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <p>事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水質検査</li> <li>2 カワニナの放流</li> <li>3 芹を植える</li> <li>4 川辺の緑地の植樹（菖蒲の株分け）</li> <li>5 梅の木、桜の木剪定</li> </ol> <p>清掃</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 除草</li> <li>2 缶、ゴミ、ビニール袋、鉄屑、陶器の破片</li> </ol> <p>研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小・中学生によるホタルの研究</li> <li>2 カワニナの飼育</li> <li>3 啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笛田の奥のせせらぎに、ホタルを飼育したいとの事。川辺に芹を植える事。カワニナを寄付。</li> <li>・ 自然の生態系を保全するように行政に働きかけている。</li> </ul> </li> </ol> <p><b>【活動の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年は下流の方で、材木座方面の方が、早くから5月27日位から出始め、皆さん喜んでいました。</li> <li>・ さんご樹の垣根側、暗い所も出て、子供たちの楽しげな声が毎晩聞けた。</li> <li>・ 小袋谷川は、1、2匹見た人はいるが、ゴミはすごい。</li> </ul>					

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	848名	代表者	中山 芳信さん
活動目的	まちの美化活動・廃棄物の削減と地域との共生				
<p>1. まちの美化活動</p> <p><b>【活動の内容】</b>  三菱電機（株）鎌倉製作所、三菱電機インフォメーションシステム（株）湘南事業所及び関係会社  （6社）*1の有志を募り、通勤に利用させていただいている工場周辺の道路を、隔週清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。  また、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2009」にも有志を募り参加しています。</p> <p><b>【活動の成果】</b></p> <p>(1) 定量的な成果  ①通い道クリーン活動：2009年度 848名参加  ・清掃範囲：工場周辺  ②クリーンアップ鎌倉：2009年度 合計162名参加</p> <p>(2) 環境への効果  タバコの吸殻、ゴミを拾う清掃活動により、工場周辺の美化維持及び公共河川の汚染防止が図れた。また、鎌倉市の美化活動にも貢献できた。</p> <p>(3) その他の成果  クリーンかまくら条例の「事業者の責務」を実践することにより、従業員へのより一層の条例周知へとつながっている。</p> <p>2. 廃棄物の削減</p> <p><b>【活動の内容】</b>  各社員、関連社員が読み終え不用となった本（DVD・CDを含む）を持ち寄り、会社グラウンドで開催されるサマーフェスティバルにおいて『古本まつり』と題して、社員、関係会社及び地域住民の方々の希望者に無償で提供しました。その際に募った寄付金は、(財)かながわみどりトラスト財団に寄付し、県の緑化活動に活用いただきました。</p> <p>実施風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><b>【活動の成果】</b></p> <p>(1) 定量的な成果  回収された古本冊数：約1,100冊、CD、DVD枚数：約154枚  募金額：13,639円  募金額全額を、神奈川県環境農政部緑政課を通じて、(財)かながわトラストみどり財団に寄付しました。</p> <p>(2) 環境への効果  約1,100冊の古本が資源ごみ、約154枚のCD・DVDが廃プラスチックとして廃却されずリユースされ、焼却場までの輸送時、及び焼却される時にできるCO2の削減ができた。  また、募金活動を通して、地球の緑を守る活動の啓発と基金への貢献をすることができました。</p> <p>(3) その他の成果  地域住民の皆様にも、参加を頂き、良好なコミュニケーションを図ることができた。これらの活動</p>					

により「地域との共生」に貢献できました。

\*1：関係会社

三菱電機エンジニアリング（株）	三菱電機特機システム（株）
三菱プレジジョン（株）	菱電湘南エレクトロニクス（株）
三菱スペースソフトウェア（株）	菱栄テクニカ（株）

団体名	NPOかまくら緑の会	会員数	50 名	代表者	高柳英磨さん
活動目的	緑化の推進、自然保護、美化清掃、環境教育				
<b>【活動の内容】</b>					
◇若宮大路グリーン・クリーン運動 平成6年度より、世界環境月間に当る6月の第一日曜日に、若宮大路のクリーン運動を行っている。例年、若宮大路歩道や植栽帯の清掃、手入れ、花植えを行政や市内の環境団体、地域住民、市民と協力して行っている。平成21年度は5月31日に行った。					
◇若宮大路と鎌倉駅東口の花植えと手入れ 鎌倉駅前から若宮大路に続く県道鎌倉停車場線と、若宮大路の二の鳥居から下馬間の歩道の花壇やプランターに花を植え、手入れを行なっている。停車場線は鎌倉駅東口街路樹愛護会の方々と協力し、年に3回ほど花植えと補植を行なっている。活動日は毎月第2木曜日と第3土曜日のほか随時で、年間40日以上。					
◇植樹 市の木ヤマザクラを市内各所に植樹している。21年度は市内二階堂の覚園寺山内に植樹を行なった。					
◇講演会 『山の緑と町の緑』と題し、広町の森と若宮大路の現況、及び活動の様子を報告してもらった。3月15日					
◇視察・見学 鎌倉市内をはじめ他の市町村の緑や自然環境の様子を知ること、また会員同士の親睦を深めるために行なっている。21年度はウォーキングをしながら市内の桜の名所を訪ねる、作業を兼ねて覚園寺の境内を散策する、千葉県に頼朝桜を訪ねる等の活動を行い、会員や参加者に好評であった。					
<b>【活動の成果】</b>					
クリーン運動や講演会には大勢の方の参加を頂き、市民の環境への関心の深さを感じている。また、若宮大路や停車場線の花壇の花は市民だけでなく、観光客にも喜ばれており、「潤いのある町づくり」を目指す当会の活動にうれしいお声も頂く。 そして、鎌倉の世界遺産登録は市民の願いであるが、コアゾーンである若宮大路での活動、講演会などの開催を通じ、世界遺産登録の重要性を考えていただけたことと思う。					

団体名	NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議	会員数	135名	代表者	木村陽子さん
活動目的	ごみの発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <p>○展示部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆常設展示 (通年)</li> <li>◆秋のリサイクル作品展 (10～11月)</li> <li>◆クリスマス飾りの展示 (12月)</li> <li>◆鎌倉駅地下道ギャラリー展示 (7月・3月)</li> </ul> <p>○情報部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆かわら版 (行事日程とその内容案内) 毎月発行</li> <li>◆会報「ラ・ラ・ラ」 (会の活動紹介) 19号 年1回発行</li> <li>◆情報シート等 (リサイクル実践に役立つ情報提供) 年3回発行</li> <li>◆ホームページの更新 (毎月)</li> <li>◆研修：環境展 (5月)、エコプロダクツ (11月)</li> <li>◆回収拠点：ペットボトルキャップのリサイクル 437.6k g</li> </ul> <p>○学習部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみ発生抑制、減量・資源化の促進を目的に学習会を年3回企画・実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夏休み鎌倉市ごみ処理施設見学会 (8月)</li> <li>2. 山崎浄化センター見学会 (3月)</li> <li>3. 鎌倉市のごみ処理の現状と課題 リサイクルセンター見学付き (3月)</li> </ol> </li> </ul> <p>○イベント部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆リサイクルマーケット (年4回/5・7・9・11月/毎回約60店舗)</li> <li>◆子どもリサイクルマーケット同時開催 (7月)</li> <li>◆古着・古本無料掘り出し市 (年1回/3月)</li> </ul> <p>○生活の知恵教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全214教室を開催。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ減量教室 (10回)</li> <li>・修理修繕教室 (4回)</li> <li>・衣類リフォーム教室 (29回)</li> <li>・リサイクル工作教室 (22回)</li> <li>・裂き織り、布ぞうりづくりその他教室 (57回)</li> </ul> </li> <li>・廃食油石けん教室 (5回)</li> <li>・リサイクル手芸教室 (65回)</li> <li>・衣類お直し教室 (22回)</li> </ul> <p>(注：活動内容は鎌倉市からの受宅事業と自主事業を合計したものです。)</p> <p><b>【活動の成果】</b></p> <p>事業実績数は受託事業(177回・2471人)、自主事業(89回・3064人)合わせて266回の事業を実施し、参加人数は延べ5535人でした。</p> <p>[特記事項:不用品登録協働事業(愛称 リユースネットかまくら)]</p> <p>本会とNPO法人鎌倉シチズンネット・鎌倉市の三者による協働事業。市民の「譲ります」「譲ってください」情報をインターネットに公開。その橋渡しの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録申し込み 742件</li> <li>・応募 1253件</li> <li>・成立 313件</li> </ul>					

団体名	キープ鎌倉クリーン推進会議(略称 KKC)	会員数	28名	代表者	高田晶子さん
活動目的	まち中の散乱ごみと落書きゼロをめざした美しいまちづくりと人づくり				
【活動の内容】					
1 まち美化／まちづくり					
<input checked="" type="checkbox"/> かながわ海岸美化財団団体交流会(2/21)〔参加〕 <input checked="" type="checkbox"/> KKCを含む4団体活動事例発表(5/12)〔市民活動フェスティバル〕 <input checked="" type="checkbox"/> 三菱東京 UFJ 銀行の座談会の出席。KKC 活動に同行も参加の花火大会散乱ごみ防止活動が同行 CSR 広報誌創刊号で紹介された <input checked="" type="checkbox"/> 6/5～6/7 市民活動の日フェスティバル参加・パネル展示 テーマ「事業所も大事なパートナー みんなで取り組むまちづくり」 <input checked="" type="checkbox"/> 9/25「環境保全のための協働の仕組みを考える会」で KKC の事例発表					
1-1 ポイ捨て防止／散乱ごみ清掃					
<b>清掃活動</b> <input checked="" type="checkbox"/> 若宮大路(正月三が日)〔自主〕 <input checked="" type="checkbox"/> 若宮大路(GW3日間)〔自主〕 <input checked="" type="checkbox"/> 鎌倉花火大会実行委員メンバー参加			<b>報告／提言等</b> <input checked="" type="checkbox"/> 散乱ごみの量・ごみ箱の状況・観光客の様子等、現場の報告。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題の抽出と次年度に向けた改善策の提案。(関連行政担当窓口、観光協会等)		
<b>防止活動</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市役所から駅まで「通い道クリーン運動」(毎月、定例会時)〔自主〕 ＊10年実施。経年変化が把握でき有効 <input checked="" type="checkbox"/> 4/1～路上喫煙防止条例スタート			<input checked="" type="checkbox"/> 市役所職員の「通い道クリーン運動」への参加拡大、働きかけ。未だ実らず残念		
2 落書きのないまちづくり協働事業スタート(単年・3年継続)					
【活動の内容】					
市内全域を会員で分担しパトロールし落書き・貼り紙をチェック。月次報告としてまとめ市に報告。未処理については、市から消去等の依頼をする。公共施設は施設管理者が消去。民間はKKCがサポート。原則その月毎に処理完遂し、常に落書き・貼り紙がゼロになるよう心掛けた。					
【落書き消去活動】					
1. 7/25七里ガ浜階段側壁の落書きを消去 2. 1/ 31高野台鳶七建設倉庫と塀の落書きを消去 3. 常時通年、落書き・貼り紙ゼロの活動					
【落書き防止・事業所との懇談会】					
出席者:NTT・鎌倉警察・大船警察・藤沢土木・なぎさ事務所・東電・JR・KKC・市職員 情報の共有化ができた。					
【達成できた点】					
1. 大きな落書き、貼り紙などの減少が顕著になった 2. パトロール実施ルートと分担とで毎月の件数や実態が定量的に把握・整理・分析できた 3. 追跡調査などフォローアップができるようになった 4. パトロール時の発見、ノウハウの共有と蓄積ができた 5. 今後への提言と課題の整理ができた 6. 落書き、貼り紙の迅速な対応が1年間維持できた 7. 環境保全課は、市民・事業者への啓発チラシ、町内会、全職員に落書きへの関心喚起の通達					

を発信した

【活動の実績】

〔平成21年度(2009)協働事業 落書き・貼り紙発見処理一覧表〕

資料作成:キープ鎌倉クリーン推進会議

月(H21年度)	落書き形態		貼り紙形態		月合計	処理有無	
	タグ	絵	手書き	印刷		処理済	未処理
4月	11	1	2	1	15	15	0
5月	2	1	4	2	9	9	0
6月	19	7	3	6	35	33	2
7月	24	1	7	10	42	42	0
8月	74	2	28	25	129	129	0
9月	31	0	8	19	58	58	0
10月	6	1	10	5	22	22	0
11月	19	0	75	16	110	110	0
12月	12	3	9	0	24	24	0
1月	26	0	14	20	60	60	0
2月	59	0	19	7	85	85	0
3月	14	0	5	12	31	31	0
累計	297	16	184	123	620	618	2
合計	313		307				
総合計	620						

注:平成21年度落書き・貼り紙総数620件、内落書き2件が消去協力を得られず未処理

【成果・効果】

1. 他の自治体と比べると、当市は落書きほぼゼロの状態が保たれている稀少な自治体とすることができた
2. 本事業に認定されたことで、NPO会員の精神的なモチベーションが格段に向上し、誇りをもって活動出来るようになった
3. 長期間放置されていた落書き等を全件消去したので、新規落書きの迅速発見が可能となった
4. 新規落書きの迅速発見により、犯行の人的・地域的・時間的特徴の絞り込みが出来てきた
5. 犯行の地域的・時間的特徴が把握できるようになってきたため、実行犯逮捕のための効率的方策を策定し易くなった
6. 行政(市・県土木・警察)、事業者(東電・JRなど)、市民(NPO)からなる連絡会が市主催で開催されたことで、より効果的な協力体制構築のための足がかりが得られた

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	24名	代表者	前島 仁さん
活動目的	地球温暖化防止対策の普及啓発、環境教育等の地域での省エネルギー推進				
【活動の内容】					
<p><b>1. 広報事業: イベントへの出展</b></p> <p>(1) 「かまくら市民活動の日フェスティバル」(6月5～7日、鎌倉生涯学習センター地下ギャラリー、NPO 鎌倉市市民センター運営会議/鎌倉市共催)に出展した。展示内容は、団体の活動内容をパネルや配布物などで紹介し、市民活動団体との交流を深めた。(主催者発表 41団体参加、延入場者数: 1,300人)</p> <p>(2) 「地球温暖化対策フォーラム」(12月22日、鎌倉生涯学習センターホール、鎌倉市主催)に出展した。</p> <p>(3) 「省エネフォーラム」(1月23日、鎌倉福祉センター、鎌倉市主催)に出展した。 いずれも展示内容は、団体の活動状況・成果等をパネルや配布物などで紹介した。</p> <p><b>2. 普及事業: 環境教育・評価調査</b></p> <p>(1) <b>環境教育</b> 出前授業を県立相武台高校で1年生30名を対象に2月3日、5日の2日間に亘って計4時間行った。 授業では地球温暖化の影響・温暖化の原因を述べて私たちのできることを提起した。 尚、電気の省エネ実験で照明(白熱電球・蛍光灯・LED)の比較、待機電力の測定と対処を試みた。 更に、環境を守るための心がけと省エネ手法を説明した。</p> <p>(2) <b>省エネ家電販売店の評価調査</b> 継続的な省エネ優良店の調査結果から地域別の総合評価ランキングを出展で紹介した。</p> <p><b>3. 地域貢献: 会員の諸活動</b></p> <p>(1) <b>鎌倉市の要請による委員参画・投稿</b></p> <p>① 「かまくら環境保全推進会議」の委員として参画し、鎌倉市エコライフ実践プロジェクト部会長を務めた。</p> <p>② 大船中学校の改築検討に際し、鎌倉市教育委員会からの要請で環境部門の検討委員として参画した。</p> <p>③ 鎌倉市環境審議会の委員として参画した。</p> <p>④ 「かまくら環境白書」に平成20年度の活動内容を紹介した。</p> <p>(2) <b>会員の多様な活動事例</b> 鎌倉市の温暖化防止対策推進のため</p> <p>① <b>環境家計簿</b>を今泉台町内会(2100世帯)でエコライフの実践として省エネに関心を持ってもらうよう町内会組織を通して普及させた。</p> <p>② 「家庭の省エネ」をテーマとして町内会の機関紙「今泉台町内会たより」(2100部発行)に8カ月間連載した。</p> <p>③ 「ゴーヤの苗」を緑のカーテンとして会員の自宅に植えて夏を涼しく過ごせるよう壁面緑化にチャレンジした。</p> <p>④ 「家庭部門の省エネ推進に係る自治体・NPO等地域活動団体交流ワークショップ」(2月10日、関東経済産業局主催)に参加した。</p> <p>【活動の成果】 地球温暖化防止対策の普及啓発、環境教育等の地域での省エネルギー推進に取り組んだことにより 広範囲に<b>市民の省エネルギーへの取り組みを促進</b>することができた。</p>					